

当別町

北欧の風が薫るまち

～まちの紹介～

当別町(とうべつちょう)は道都札幌市に隣接しながら北海道らしい雄大で美しい農村景観と大都市の機能を楽しむことができるまちです。当別町の魅力の一つは大都市郊外で田園生活が味わえる住環境の良さであり、快適な「田舎暮らし」に魅かれた北海道外からの移住者も多い町です。

田園風景や気候風土が北欧に似ていることから、当別町ではスウェーデン王国レクサンド市と姉妹都市提携を結び、北欧の伝統行事である「夏至祭」は日本全国でも特徴的なイベントとして定着しています。

平成29年9月には札幌から一番近い道の駅「北欧の風 道の駅とうべつ」が誕生し、新鮮野菜の直売や特産品の販売など本町における交流人口の拠点となっています。

北欧の風 道の駅とうべつ 3つの個性「食」「買う」「北欧」

今だけここだけの「食」

札幌の有名店、堀川秀樹氏がシェフを務める「テルツィーナ」直営のレストランでは地元の野菜や畜産品をふんだんに使った季節メニューが楽しめます。

その他のコーナーでも、蕎麦や豚丼などのご飯ものはもちろん、スイーツやパンなどのテイクアウトメニューも充実しています。



買って帰ろう

その日に採れた新鮮な野菜をはじめ、チョコレート、和洋菓子、加工品、スウェーデン関係の雑貨などを販売。

あなたの食卓に、おみやげに、当別ならではのアイテムをお持ち帰りください。



北欧を感じる

当別町とスウェーデンのレクサンドは姉妹都市。

町をあげて交流も深く、ものづくり体験や食のイベントなども数多く企画しています。

駅舎は木のぬくもりが感じられる北欧風のつくりになっており、家具は北欧のインテリアショップ「IKEA」。開放感のあるくつろぎの空間が広がります。

はなポッケ道の駅

その日に採れた野菜、精米したてのお米。

そして北海道内屈指の生産量、品質を誇る切り花。

札幌からほど近い距離でつくられている一次産品を、ぜひ食卓に並べてください。

【営業時間】 9:00～17:00(冬期休業あり)

【農産物直売所に関するお問い合わせ】 0133-27-5263



営業時間

北欧の風 道の駅とうべつ [4月～11月]9:00～18:00(定休日なし) [12月～3月]10:00～16:00(定休日:毎週水曜、年末年始)

テイクアウト 道の駅の営業時間に準じる(※店舗により完売閉店の場合あり)

レストラン [4月～11月]11:00～17:00L.O. [12月～3月]11:00～15:00L.O.

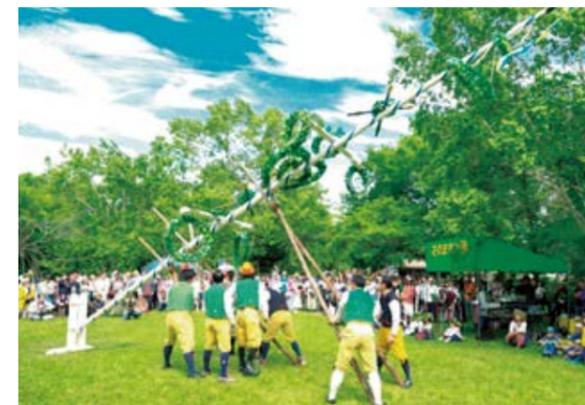
農産物直売所 9:00～17:00(冬期休業あり)

夏至祭

開催時期 6月中旬～下旬頃

祭りが育んだ、スウェーデンとの絆

北欧の夏を代表するお祭り「夏至祭」は、集落と子孫の繁栄、そして待ちに待った夏を迎える喜びを祝う、北欧においては年間を通して最大のイベントです。祭りのメインイベントは「マイストング」というポールの立ち上げ。広場にポールが立ち上がると拍手喝采が起こり、音楽と共に参加者はダンスを踊ります。当別町でも民族衣装に身を包んだ人々が見守る中、マイストングが立ち上げられる本番さながらの夏至祭を開催しており、その歴史はなんと35年以上。この歴史が姉妹都市交流の証の一つとなっています。スウェーデンヒルズの公園や交流センターを会場に、さまざまなプログラムが行われるお祭りには、毎回数千人もの来場者が訪れています。



亜麻祭

開催時期 7月上旬

毎年7月に当別町で開催されている亜麻まつり。お祭りは亜麻の花が見ごろとなる時期(6月下旬～7月上旬)に合わせて開催されます。

亜麻に関する各種展示物のほか、町内の農産物販売、亜麻の実を使った食品を扱った飲食ブースの展開や「亜麻色の髪の乙女」を題材とした歌唱コンクールなど、亜麻いっぱいのおまつりです。

さらに、畑一面に広がる可憐な亜麻の花を見ようと札幌をはじめ近郊より多くの方が当別町にお越しになります。

